

(第 1 面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 8 日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

提出者 ユニマテック株式会社
住 所 茨城県北茨城市磯原町上相田831の2番地
氏 名 代表取締役社長 菊地 洋昭
電話番号 0293-42-2161 (代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条の 2 第 10 項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ユニマテック株式会社 第一工場
事業場の所在地	茨城県北茨城市磯原町上相田831の2番地
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	349億
③ 従業員数	394名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・【引火性廃油】：原料 ⇒ 反応工程 ⇒ 廃液・【強酸】：原料 ⇒ 反応工程 ⇒ 洗浄 ⇒ 強酸・【強アルカリ】：原料 ⇒ 反応工程 ⇒ 洗浄 ⇒ 強酸・【感染性】：使用済脱脂綿・実験用破損シリンジ (注射器) 等・【有害廃油】：原料 ⇒ 反応工程 ⇒ 廃液・【廃石綿】：恒温槽・スレート等



(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 ※別紙のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各部署の特別管理産業廃棄物管理の指導及び置場の日常巡回点検の実施。 ・廃棄物分別基準を厳守させる。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の推進と内容の強化。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

① 現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項 ※別紙のとおり

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和３年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	596.1 t	
	(今後実施する予定の取組等)		
	・ 2016 年 1 月 ： J W N E Tへ加入 ・ 2016 年 9 月以降 ： 電子マニフェスト運用へ全面切り替え		
※事務処理欄			

特別管理産業産業廃棄物処理計画書

(別紙)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項。

前年度(令和4年度)の実績

(t)

現状	廃棄物の種類	引火性廃油	有害廃油	強酸	強アルカリ	廃石綿	有害廃酸	感染性
	排出量	226.7	0.3	162.9	265.0	0.0	0.0	0.0

計画	廃棄物の種類	引火性廃油	有害廃油	強酸	強アルカリ	廃石綿	有害廃酸	感染性
	排出量	215.4	0.29	154.8	251.8	0.0	0.0	0.0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

前年度(令和4年度)の実績

廃棄物の種類	引火性廃油	有害廃油	強酸	強アルカリ	廃石綿	有害廃酸	感染性
全処理委託量	226.7	0.3	162.9	265.0	0.0	0.0	0.0
優良認定処理業者への処理委託量	226.7	0.3	162.9	265.0	0.0	0.0	0.0
再生利用業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							

※ これまでに実施した取り組み

- ・ 各部署ごとに廃棄物削減目標を掲げて取り組みを行った。
- ・ 廃棄物削減プロジェクトで発生抑制、削減の取り組みを行った。
- ・ 廃棄物の少ない製法への転換を行った。

計画

廃棄物の種類	引火性廃油	有害廃油	強酸	強アルカリ	廃石綿	有害廃酸	感染性
全処理委託量	215.4	0.29	154.8	251.8	0.0	0.0	0.0
優良認定処理業者への処理委託量	215.4	0.29	154.8	251.8	0.0	0.0	0.0
再生利用業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							

※ 今後実施する予定の取り組み

- ・ 現状の取り組みを推進し、更に廃棄物の発生抑制及び削減を進めて行く。